



那須町部活動地域展開の指針

～子どもたちの豊かな成長を地域で支えるために～



令和8年7月
那須町教育委員会

はじめに

学校部活動は、児童・生徒の自主的・自発的な参加による活動を通じて、達成感の獲得、学習意欲の向上や責任感、連帯感を養うとともに、自主性の育成にも寄与してきたほか、児童・生徒のスポーツ・文化芸術活動に親しむ場として、大きな役割を担ってきました。那須町では、学校部活動が担う教育的意義を大切にするため、小学校において、野球、ソフトボール等の競技を学校部活動として、長年、教員が指導者として携わってきましたが、教員の働き方改革の推進に伴い、地域クラブ活動への移行の取り組みを進めた結果、小学校の部活動としていたすべてのスポーツ活動において、現在、地域クラブ活動として移行が完了したところであります。

一方、中学校においては、少子化の影響に伴う生徒数の減少により、チーム編成ができない、やりたい部活動がないなど部活動に対する多様化するニーズへの対応が求められています。また、教員の負担軽減を推進する必要もあり、学校部活動を従前と同様の運営体制で維持することが難しい状況にきております。

このような中、国は令和7年12月に、「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定し、令和8年度から令和13年度までを「改革実行期間」と位置付け、全国的な取組を推進することとし、県では令和8年3月に「とちぎ部活動地域展開プラン」を策定し、令和11年度末までに休日の部活動を全て地域展開することを目指しております。

那須町においても、こうした国・県の取り組みを踏まえつつ、町内の中学校及び地域の実情に応じ、将来にわたり生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備を図る必要があります。本指針は、那須町における中学校部活動の地域展開に関し、基本的な考え方を整理し、関係者が共通認識の下で計画的かつ着実に取組を推進するための指針として策定するものであります。

那須町部活動地域展開の基本的な考え方

生徒を中心とした活動機会の確保・充実

部活動の地域展開の主たる目的は、生徒が生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実することにあります。このため、生徒の意向を尊重し、地理的要因、移動手段、障害の有無等に配慮しつつ、生徒が希望する活動を主体的に選択できる豊かで幅広い活動機会の整備を図ります。

学校や地域との連携・協働による体制整備

学校部活動が有してきた教育的意義に留意しつつ、地域の人材、団体、施設等の資源を活用し、学校や地域等と連携・協働して生徒の活動を支える体制の構築を図ります。併せて、関係者間における情報共有及び役割分担を明確化し、地域の実情に応じた運営手法の選択と改善を進めます。

持続可能性の確保及び適切な指導体制の整備

部活動地域展開を継続的に実施するため、運営及び指導に携わる者に過度な負担が生じない仕組みの構築を基本とします。教員の働き方改革の趣旨を踏まえ、指導者の確保・育成の実施、安全管理の徹底等を通じて、適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導体制の整備を図ります。また、地域クラブ活動での指導を希望する教員等について、関係制度等を踏まえつつ、円滑な兼職兼業の運用を図っていきます。

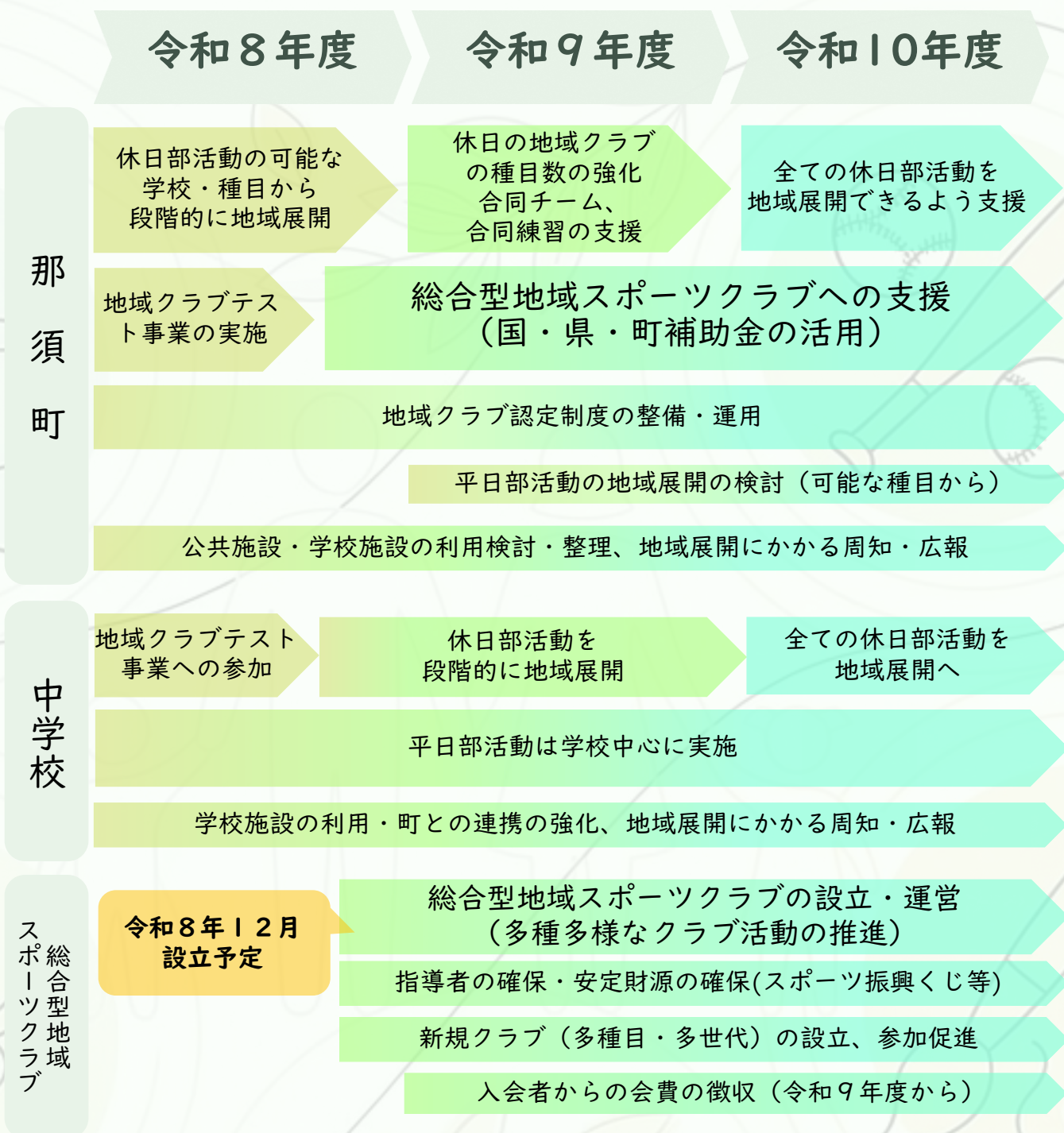
地域におけるスポーツ・文化芸術振興への波及

部活動の地域展開を契機として、子供から大人まで障害の有無に関わらず、地域住民がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の充実を図ります。多世代交流の促進、健康づくり及び地域コミュニティの形成等に資する取組として、関係施策との連携を図りながら推進します。

部活動地域展開実現に向けたロードマップ

前期：休日部活動の段階的な地域展開

前期



後期：休日部活動の地域展開定着 + 平日部活動の方針検討

後期 (令和11～13年度)

休日の取組

- ・ 休日部活動を地域展開し、地域クラブ活動が基本となる状態へ
- ・ 文化系活動の新規設立、初心者向けの活動など、選択肢を広げて定着

平日の取組

- ・ 前期の休日部活動の地域展開の結果を踏まえ、平日部活動の推進を検討
- ・ 地域の実情に応じ、可能な部活動から段階的に地域展開へ

多様な活動を支えるために 『総合型地域スポーツクラブ』を設立します

那須町における部活動の地域展開を支えるため、中学校の休日部活動の「受け皿」となる総合型地域スポーツクラブを設立します。

このクラブは、地域住民が中心となって運営し、単に部活動の場を提供するだけでなく、子どもから大人まで地域の誰もがスポーツや文化芸術活動に気軽に親しめる多世代交流の拠点となることを目標とします。

総合型地域スポーツクラブの基本理念



一人一人のやりたいことを
実現できるクラブであること



好きなこと、得意なことに気づくこと
ができるクラブであること



主体的で、自治的な集団活動を
体験できるクラブであること



子供たちが主役となる
クラブであること

総合型地域スポーツクラブのイメージ

那須町

企業・住民

連携・支援

賛助金などの支援

多項目

多世代

多志向

那須町総合型地域スポーツクラブ



クラブ活動へ参加
会費の支払い（入会者）

単位クラブ
（中学校部活動）

単位クラブ
（既存地域クラブ）

単位クラブ
（新規クラブ）

休日の活動

那須中央
那須中

平日の活動

中学校部活動

総合型へ加入

既存の地域クラブ

地域住民
（子どもから高齢者まで
初心者から熟練者まで
年齢・経験問わず）



※小学生は、学校管理下ではなく、スポーツ少年団や保護者会で運営される地域クラブとして活動しています。

那須町部活動地域展開・魅力ある総合型地域スポーツクラブ 実現への課題と取組

	課 題	取 組
 運営費	安定的な収入の確保	・町(国・県)からの財政支援、民間企業等からの後援等 ・保護者負担の明確化
	チームの活動助成	・単位クラブ活動費の助成 ・学校後援会からの支援のあり方
	会費(保護者負担)の明確化	・活動種目ごとの活動費の把握 ・部活動保護者会のあり方
 指導者	指導者の待遇	・指導者謝金の支給額の設定、支給方法の整備 ・指導者謝金の弾力的運用
	指導者の確保	・現職教員、地域指導者の発掘 ・教員の兼職兼業の運用の推進
	指導者の質の確保	・スポーツ活動、文化芸術活動の指導者研修の実施 ・指導者登録基準の明確化
	指導者の育成	・指導者資格の受講料の助成 ・指導者育成の推進
 活動場所 大会参加	活動場所の確保	・公共施設予約制度、施設使用料の減免の整備 ・小中学校体育施設の利用推進
	活動場所への移動	・スクールバス運行の活用の推進
	大会参加の確保	・中体連大会の参加要件の把握、学体連との連携 ・中体連大会以外の大会の把握、各競技運営団体との連携
	大会参加の支援	・県大会等上位大会の支援(スポーツ振興・文化振興奨励費) ・スポーツ活動等大会参加移動費の支援
 新規クラブ	新規クラブの活動種目の追加	・多種多様な活動種目の創設 ・新規クラブ指導者の発掘
	新規クラブの創設支援	・新規クラブ活動の運営方法の支援 ・総合型クラブへの加入促進

本指針の実現には、学校・家庭・地域が一体となった支援体制の構築が不可欠です。そのため、「大人も子どもも共に成長できる」そんな新しい部活動の形が形成できるよう、関係者の皆さまの周知理解を促進します。また、関係者との協力体制を強化し、スポーツ・文化芸術活動のより一層の推進を図ります。

『那須町部活動地域展開の指針』作成協力者

【令和8年度小中学校部活動地域移行検討協議会】

委員長 河田 隆（宇都宮共和大学 副学長）

副委員長 平久井好一（那須町教育委員会 教育長）

委員 君 健一郎（那須町立小学校校長会 代表）

委員 戸村 一郎（那須町立中学校校長会 代表）

委員 楠本 理美（那須町立小学校PTA会長 代表）

委員 大森 峻（那須町立中学校PTA会長 代表）

委員 薄葉 保夫（那須町スポーツ協会 会長）

委員 青木 澄子（那須町文化協会 会長）

委員 田崎 真（那須町スポーツ協会 スキー専門部長）

委員 島村 育男（那須町教育委員会学校教育課 課長）

委員 人見 英樹（那須町教育委員会生涯学習課 課長）

委員 赤羽根泰啓（那須町教育委員会こども未来課 課長）

那須町部活動地域展開の指針

～子どもたちの豊かな成長を地域で支えるために～

編集・発行者 那須町教育委員会生涯学習課

〒329-3215

栃木県那須郡那須町大字寺子乙2516

TEL 0287-72-5959